



環境経営レポート

株式会社ピーエーイー

2023 年度

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)

PAE 加工
 産業加工のスペシャリスト
 ミクロン単位の精密加工
 鉄・ステンレスを中心にアルミ、銅、黄銅、チタンにも対応
 産業機械向け部品から航空機、二輪、医療など様々な分野に展開

PAE プラスチック成形
 ＊ディファクトリーメーカー認定の精密樹脂成形工場！
 ＊汎用樹脂からスーパーエンジニアまで幅広く対応！
 ＊金型製作から立ち上げ、量産までの一貫受注可能！
 金型からの
 短期間による
 コスト削減、
 納期短縮の
 ご提案

**プラスチック成形品への
 電磁波シールドめっき
 (EM SHIELD PLATING)**
 【EVやPHVなどの新エネルギー車や自動運転関連等】
 軽量化、脱炭素化貢献も…
 自動車部品や産業機械部品の電磁波シールドめっきにより、電磁波ノイズの抑制や、
 電子機器からの放射対策、電磁波等、これら影響の軽減に向けて、
 プラスチック成形品への電磁波シールドめっきもご提案致します。

プラスチックに特電無銅、防錆として無電鍮ニッケルをめっきすることで
金属製品と同等の電磁波シールド効果が期待できます
 (※電磁波シールド効果は、電磁波の周波数により異なります。)

023年6月30日 新工場完成!!
 180t～350t
 成形機新機導入
 スペース確保



発行日： 2024年7月3日
 更新日：

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11



ごあいさつ

エコアクション21の取り組みも5年以上が経過し、環境活動に対する意識が高まって来ていることを感じます。2021年度から2022年度は、新型コロナウイルスの影響を受ける中での生産活動となりましたが、豊丘工場増築等、設備投資を積極的に行い売上も伸ばして来ました。

物価高や円安等、取り巻く環境が著しく変わり、目標に対する達成状況も評価が難しい状況とはなっておりますが、生産量増加している状況下でありながら、リサイクルやエコ活動も推進され環境目標に対する実績の達成状況もみても、活動の成果が出ていると評価致します。

一昨年度からは、「SDGs」の活動を開始致しました。エコアクション21の環境活動と通じるものは多く、環境活動においては個人目標から各事業部のプロジェクト活動における具体的な取り組みを通して、さらに全社で推進されることを期待します。

環境経営方針

【環境理念】

株式会社ピーエーイーは、積極的な環境保全活動により、次世代により良い環境を引き継ぎます。

環境保全への行動指針

1. 環境影響を常に意識し、地域環境保全に配慮した事業活動を行います。
2. 事業活動における廃棄物低減を進めるため、生産工程における環境負荷及び不良率の削減に積極的に取り組みます。
3. 環境負荷低減のための目的、目標を定め、継続的改善活動に努めます。
4. 化学物質について、適切な管理をします。
5. 環境保全活動に関する法規制、自社ルールを遵守します。
6. 全社員への環境教育を実施し、環境保全に対する意識向上に努めます。
7. SDGsの推進を行います。



制定日：2017年4月1日

代表取締役社長

武田 慎一郎

組 織 の 概 要

(1) 名称及び代表者名

株式会社ピーエーイー
代表取締役社長 武田 慎一郎

(2) 所在地

本社(毛賀工場) 長野県飯田市毛賀240-2
阿智工場 長野県下伊那郡阿智村駒場2000
豊丘工場 長野県下伊那郡豊丘村神稲3370-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 管理部長 福与 透 TEL : 0 2 6 5 - 3 5 - 7 5 2 4
担当者 品質保証部 小林 哲也 TEL : 0 2 6 5 - 3 5 - 7 5 2 4

(4) 事業内容

製品設計、樹脂成形、金属切削、コイル加工、ハーネス加工、製品組立

(5) 事業の規模

売上高 1,546,211 千円

	本社(毛賀工場)	阿智工場	豊丘工場	合計
従業員 名	45 名	13 名	66 名	124名
延べ床面積 m ²	1345 m ²	2420 m ²	2740 m ²	6,505m ²

(6) 事業年度

4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 株式会社ピーエーイー
対象事業所 : 本社(毛賀工場)
阿智工場
豊丘工場

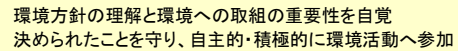
対象外 :
活動 : 製品設計、樹脂成形、金属切削、コイル加工、ハーネス加工、製品組立

□事業の紹介



更新日：2023年7月21日

統括責任	
------	--



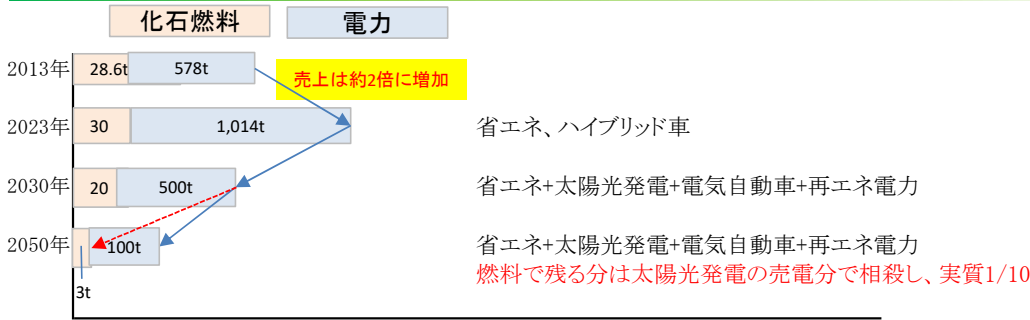
4

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,038,508	1,048,749	1,065,678
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	3,851	2,522	1,971
産業廃棄物排出量	k g	4,016	5,526	4,654
水使用量	m ³	2,253	2,474	2,049
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.452	0.452	0.452
		中部電力ミライズ	中部電力ミライズ	中部電力ミライズ

kg-CO2/kWh

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み



環境経営目標及びその実績

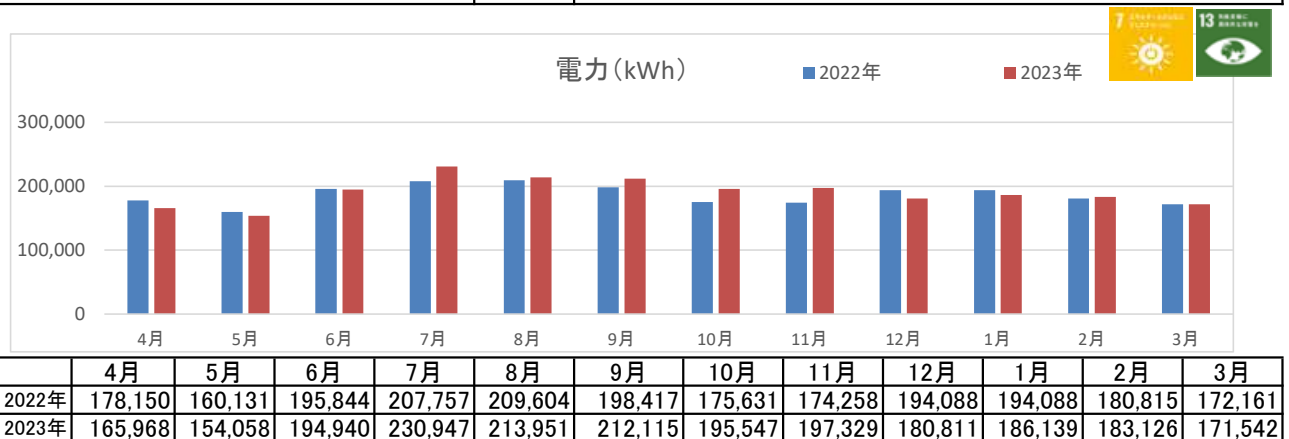
年 度		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	1,013,638	1,003,501	1,033,486	×	993,365	983,228
	基準年度比	2022年	99%	103%		98%	97%
	原単位 kWh/千円	1.563	1.548	1.479	○	1.532	1.517
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO2	5,617	5,561	518	○	5,505	5,449
	基準年度比	2022年	99%	9%		98%	97%
	原単位 m ³ /千円	0.002	0.002	0.000	○	0.002	0.002
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	29,494	29,199	31,674	×	28,904	28,609
	基準年度比	2022年	99%	105%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	1,048,749	1,038,261		1,027,774	1,017,286
一般廃棄物の削減	kg	2,522	2,497	1,971	○	2,472	2,446
	基準年度比	2022年	99%	68%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	5,976	5,916	4,654	○	5,856	5,797
	基準年度比	2022年	0.99	0.8		0.98	0.97
水道水の削減	m ³	2,474	2,449	2,049	○	2,425	2,400
	基準年度比	2022年	99%	83%		98%	97%
洗剤使用量削減	kg	8,630	8,544	9,788	×	8,458	8,371
	基準年度比	2022年	99%	113%		98%	97%
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み		行動目標(次項による)					
課題を解決しチャンスを活かす取組		行動目標(次項による)					

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

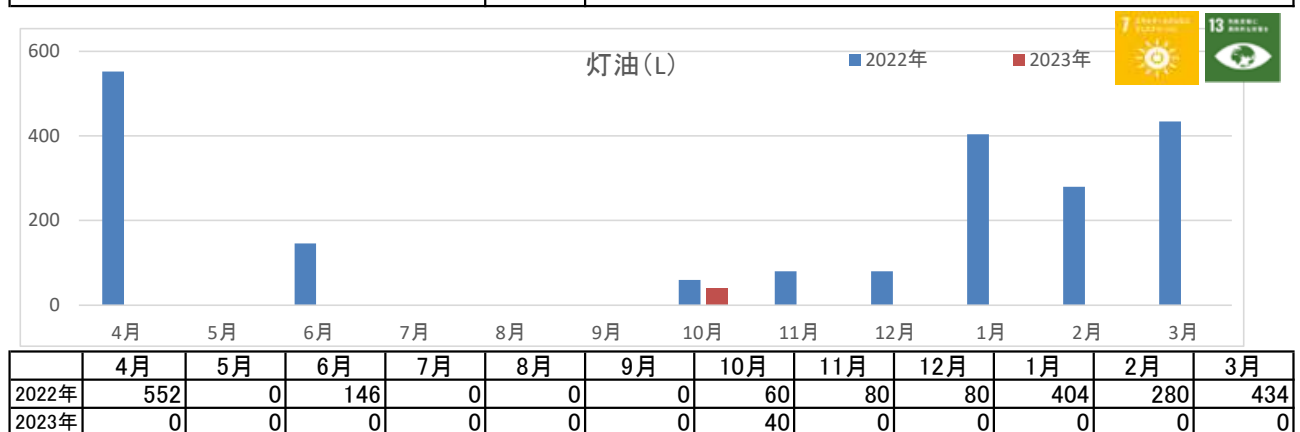
数値目標:○達成 ×未達成

活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】前年度対比にて、売上上昇の為、二酸化炭素排出量は増加しているが、売上高原単位評価では基準年である2022年度に対し、95%の実績となり効果が出ている。 【次年度の取組】太陽光パネルの設置を行い、電力量削減に取り組む。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯、人感センサーの採用	○	
・デマンドコントロールによる瞬時電力コントロール	○	
・生産方法の改善による時間短縮	△	
・空気圧縮機のアエア洩れ点検	○	

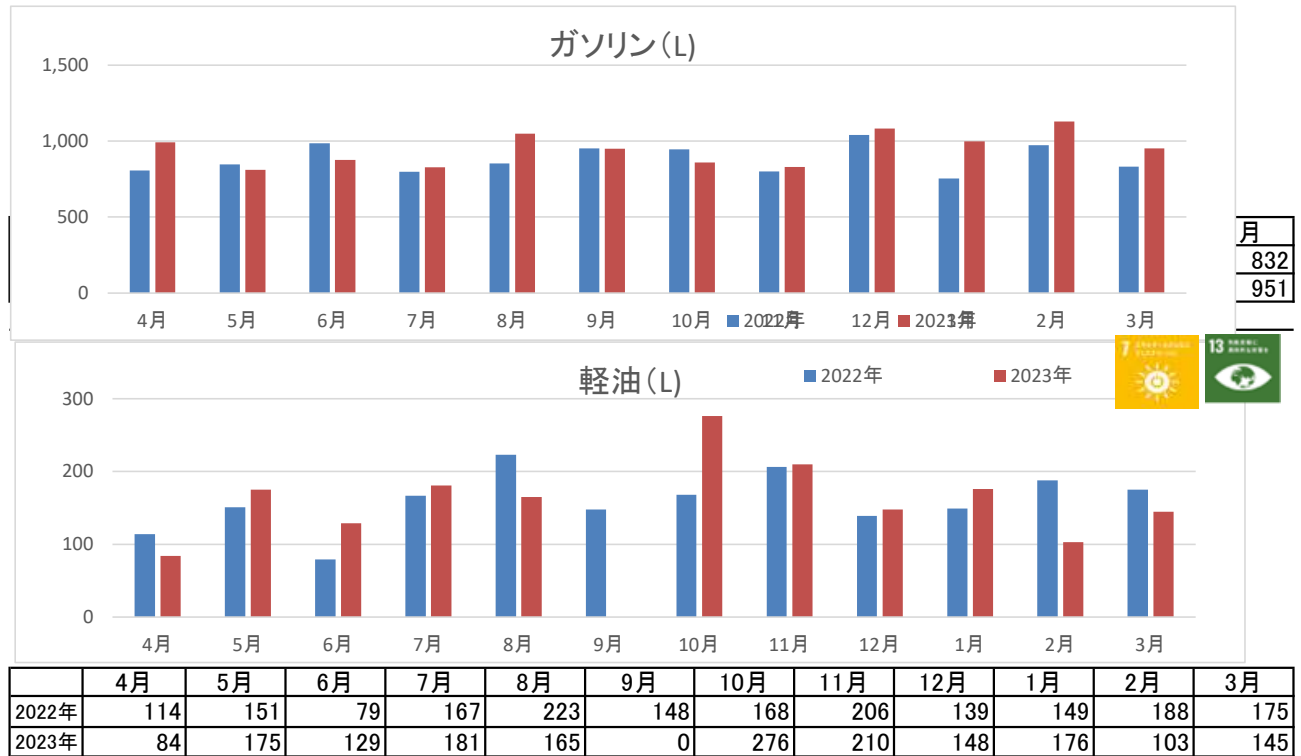


灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】今年度については代替品による運用を行ったため、10月に若干使用したが大幅に削減する事が出来た。 【次年度の取組】次年度以降は使用量0で推移する予定。
原単位目標	○	
温度管理	△	

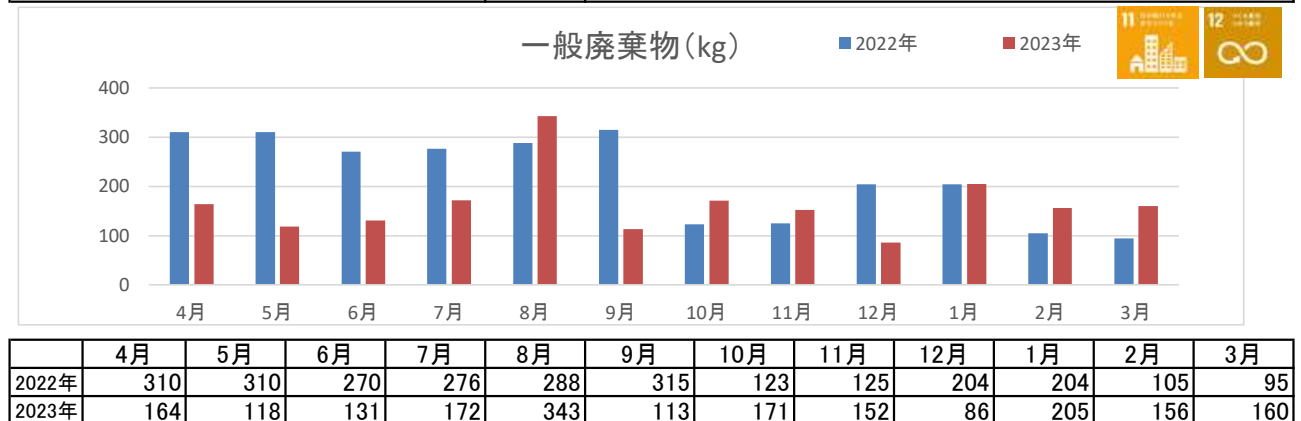


自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】2022年度と今年度の比較としてはほぼ増加傾向の水準となり、未達成の状態であった。人員増加やコロナ明けの活発な営業活動が要因となっている。 【次年度の取組】エコ運転の注意喚起をもっと積極的に行う必要がある。古い車体は燃費の良い車への入れ替えも検討する。
・エコドライブの浸透	△	

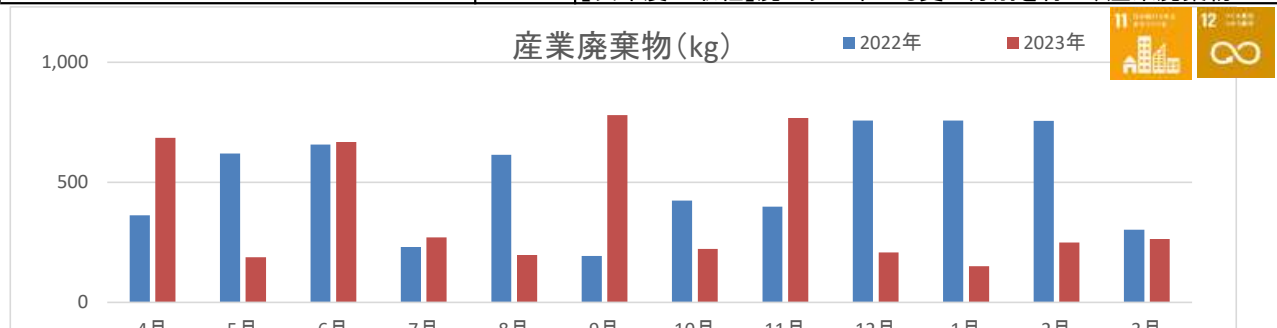
取組紹介欄



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】豊丘工場新設に伴い、引っ越し時に発生した大量のごみの発生により、8月の数値は大きくなってしまっていたが、それ以降についてはほぼ安定した発生数量で推移している。 【次年度の取組】少しずつではあるが、ペーパーレス化を行い、余計な紙資源の発生を抑える取り組みを進めていく。
・分別の徹底、強化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
・帳票保管の電子媒体化	△	

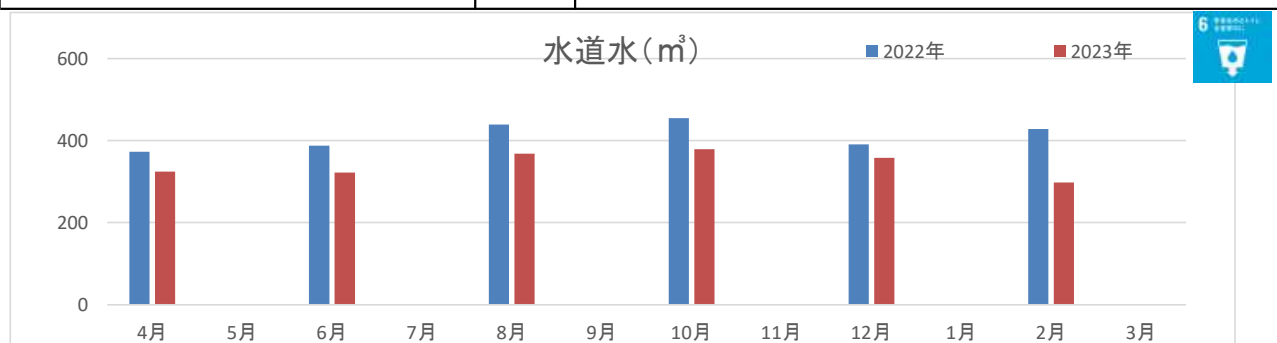


産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】9月については豊丘工場の片付け作業が入った為、数値が上昇してしまった。11月については回収回数が1回分多く入っている為、数値が上がっている。その他については具体的な手が打てなかった。 【次年度の取組】廃プラの中でも更に分別を行い、産業廃棄物の
・分別の徹底、強化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
・帳票保管の電子媒体化	△	



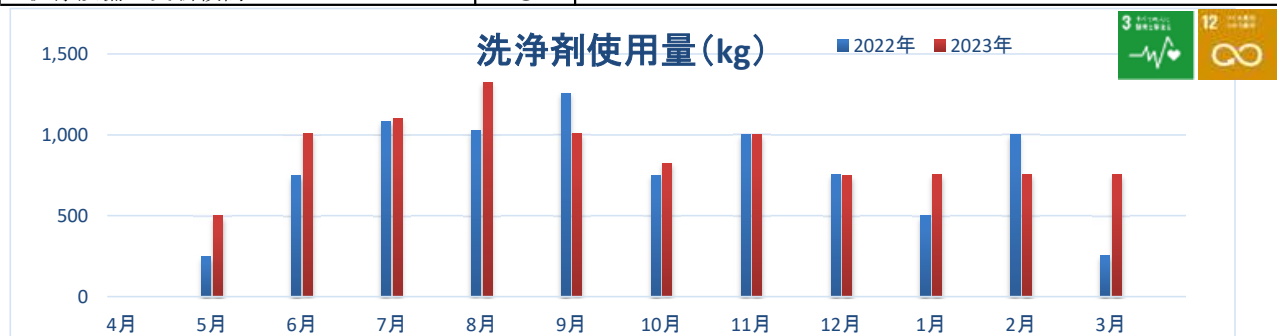
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	362	620	657	231	614	193	424	399	758	758	757	302
2023年	686	188	668	270	197	781	223	768	208	151	250	264

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】安定した削減が進められた。豊丘工場トイレは自動感知水道の設置による水道水の削減。 【次年度の取組】トラブル発生による水道水の漏水等がないように各設備の定期的な点検を検討する。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・豊丘工場では自動センサー式水道蛇口設置	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	373	0	388	0	439	0	455	0	391	0	428	0
2023年	324	0	322	0	368	0	379	0	358	0	298	0

洗浄剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】代替品の検討は未実施だった。現段階では生産状況に応じて使用量は変化するものの現状維持状態。 【次年度の取組】代替品の検討を視野に入れつつ、生産状況に応じて出来る限り削減を行う。
・有害性物質取扱者の健康診断の実施	○	
・有害性物質の表示の徹底、従業員教育	△	
・代替物質の検討	×	
・洗浄設備の更新検討	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	0	250	750	1,083	1,025	1,258	750	1,000	758	500	1,000	258
2023年	0	500	1,008	1,100	1,325	1,008	825	1,000	750	758	758	758

各事業所の取組紹介

＜本社工場＞

- ①切削油量の削減（継続中）
 - ・ドラム缶からの汲出し量の把握と異常値の管理
 - ・設備の切削油漏れ箇所の修繕

＜豊丘工場＞

- ①樹脂分別強化、産業廃棄物分別強化（継続中）、
 - ・分別の全体教育実施（不定期）
- ②不適合品の再利用（継続中）
 - ・透明材は製品として再生利用する事が難しい為、1回使用して回収してもらっていたが、粉碎してパージ材（洗浄材）として再利用した。
- ③節電（継続中）
 - ・デマンドによる電力管理
 - ・人感センサーにより照明の点灯消灯を自動化

＜阿智工場＞

- ①電力量・燃料使用量の節約
 - ・無理のない範囲でのエアコン使用制限（扇風機・ストーブで対処）
- ②地元企業からの資材委託や外注委託
- ③地元学生の会社見学・企業体験の受入れ

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法	空気圧縮機の設置
振動規制法	空気圧縮機の設置
水質汚濁法	緊急時の処置
浄化槽法	浄化槽の使用
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の設置

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

外部からの環境上の苦情は2023年4月1日～2024年3月31日の間ありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定: 水災害発生	
■実施日: 2023年9月1日	■実施場所 豊丘工場
■参加者: 35名	
■実施内容: ☐ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☒ 避難訓練 水害発生時の工場止水板の設置、ハザードマップ、避難場所の確認、避難訓練	
■評価:	手順書の変更の必要性 ☒ あり ☐ なし
社員の緊急時の対応の理解を深めることができた。	
■実施状況の様子 水災害避難訓練	
止水版取付作業 	ハザードマップ確認 
避難所集合 	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年8月4日

エコアクション21の認証を受けて5年が経過し、その取り組みに対しての意識の向上に停滞も感じることもありましたが、SDGsの取り組みを開始し、2021年10月に長野県SDGs推進企業に登録されたことで、環境活動への取り組みに再び意識向上がみられます。

SDGs初年度は、省エネ設備への切り替えや、ハイブリット車の導入、工場照明のLED化などを進めて来ました。こども病院への寄付金付きの自動販売機の導入、ペットボトルキャップの引取等の社会貢献活動へも力を入れております。

豊丘工場に設立しました、新工場では、太陽光発電のソーラーパネル設置を来年度は視野に入れ、電力量の抑制に努めてまいります。新工場では、人感センサーを各所に設置し、断熱もしっかりとした工場を建設し、エネルギー効率の改善を図っています。

環境活動は管理本部を中心とした発信で、内容の精査や進度管理は、各工場の現場に任せてきたこともあり、活動内容や成果などにバラつきが出ている為、再度各工場の意見をもとにピーエーイー全体として活動が行えるよう進めていきます。実績の見える化を行い、活動内容やその成果を全社で共有することで、次年度への取り組みに弾みをつけ、さらなる向上を目指します。

地道な活動が大きな成果を生みます。そのことを社員一人一人が理解し、日々の活動を推進していくことを望みます。

☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

[illegible]

□編集後記

昨年度の反省点を踏まえ、今年度についてはある程度毎月のデータを打ち込みながら作成することが出来ました。
資料のまとめについても内容を確認しながら対応出来た為、昨年度に比べて環境経営レポートを作成するには時間がかからず対応出来たと思います。

次年度も、今年度の作成経験をもとに作成し、先生方のアドバイスを頂きながら、より良いものを作成出来ればと思います。工場毎での活動する内容についても、社員が計画と実績を共有できるようにし、成果の見える化をおこない、達成感を得られるようにしていけたらと思っています。